

瀬音

第16号

編集・発行／斐伊川漁業協同組合広報委員会／令和5年7月発行／雲南省三刀屋町下熊谷1272番地5／TEL(0854)45-2098

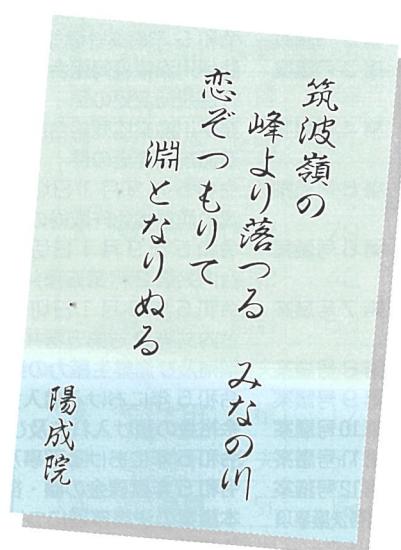


© e-MotionPhotographers 2020

阿井川のヤマメ

目次

「たたら」を支えた斐伊川 代表理事組合長 山根 成二	2
第72回通常総代会（議事・議決事項・報告事項）	2
令和5年度事業計画 支部長及び組合員数	3
斐伊川を訪れた文化人（14）中村 成子（料理研究家）	4～5
斐伊川の今昔	6
斐伊川漁業協同組合内共第2号第五種共同漁業権行使規則	7
斐伊川漁業協同組合内共第2号第五種共同漁業権遊漁規則	8
斐伊川の恵み その③「若鮎を味わう」願永信夫	9
学際的研究による斐伊川のアユや環境の「知」の蓄積 北陸先端科学技術大学院大学 吉岡秀和 他	10～11
一般遊漁券取扱所 組合員募集・つりチケ	12
斐伊川漁協管内図 編集後記	13
写真で見る地域活動	14



あゆ養殖量は前年同の稚魚二二〇kgとする。水質並びに病気等に対する衛生管理の徹底を図り良好な育成環境の保持に努めるため養殖施設設備等の適切な維持修繕を行い美味しい「奥出雲斐伊川あゆ」の安定生産に取り組む。併せて急速冷凍庫の活用により鮮度の良いあゆを提供する。

2 養殖事業

魚種	放流量
あ ゆ	770 kg
う な ぎ	300 kg
や ま め	140 kg
や ま め 成 魚	410 kg
もくずがに	30 kg
ふ な	50 kg
うぐい産卵場	19ヶ所
こい人工産卵床	3ヶ所
わかさぎ分離卵	200万粒

4 有害鳥獣駆除対策事業

魚類の増殖保護のため継続して力ある衛生管理の徹底を行なう。また、行政に対してもサギの協力を得て、河川沿岸の樹木伐採の要望を行なう。

斐伊川は、実に偉大な川だと思います。斐伊川は、数多くのものを育んでくれました。古代においては、ヤマタノオロチなどの出雲神話の舞台となりました。今でも神樂によりその情景は引き継がれています。今も漁協組合員が恩恵を得る漁獲は無論のこと、農業用水を提供し、この地域の農業を支えました。江戸時代に誕生した「鮎の尾（なますのお）」という取水方法は、現在でも続いています。また、洪水を防ぐために「川違え（かわたがえ）」という工事が繰り返され、その結果、出雲平野まで生み出しました。

中でも斐伊川を偉大たらしめた最大のものは、神話と並んで、「たら製鉄」であろうかと思います。良質な砂鉄、広大な森林がもたらす木炭は、この地を製鉄の産地とし、明治期には、全国の約四割の鉄を産出したほどです。出雲の御三家の一「絲原家」では、明治初期には、五千人から六千人の人が操業に関係したと言います。この地の巨大産業であったのです。

その原料たる砂鉄を生み出す「鉄穴（かんな）流し」は、斐伊川の水が使用されましたし、その跡地には棚田という農業基盤まできました。その恩恵は今でも続いています。

そして、生産された鉄の運搬手段として活用されたのが斐伊川であります。元島根県古代文化センター所長で、現在、雲南省役所勤務の角田徳幸氏は、「鉄は斐伊川から日本海沿岸の港に運ばれ、更に廻船によって全国に流通した」、即ち、「斐伊川の舟運が奥出雲のたらを支えた」と言います。確かに、三刀屋町粟谷地内には、田部家の鉄が陸路運ばれ、同地から舟運により供出された基地があり、今でも遺構が残ります。

現在の斐伊川の状況からすると、舟運が行きかう姿は想像ができるません。尾原ダムの影響なのか、水道用水等のため取水するためなのか、水量・水深が舟運には不足していると思われます。小生の近所には、明治時代に舟運により松江と交易し、財を成したという家があります。

支部長及び組合員数

(令和5年1月)

支部名	支部長名	組合員数
横田	小川 直美	64
八川	渡部 和敏	62
馬木	吉川 光則	41
亀嵩	内田 裕介	29
布勢	千原 佐介	22
三成	木山 厚夫	46
阿井	立石 好次	51
三沢	内田 幸伸	24
温泉	勝部 博	33
日登	瀬尾 正明	31
木次	早島 三雄	45
大東	野々村一己	79
加茂	小林 由和	42
三刀屋	松尾 静治	53
鍋山	名原 英夫	58
多根	大田 稔	17
掛合	竹下 文夫	57
吉田	高橋 守	12
田井	松島 貞夫	21



5 教育啓発広報活動事業

斐伊川の魅力の発信のため広報誌「瀬音」の充実に努め、組合員や遊漁者から寄せられる釣果情報、河川情報等の情報発信に積極的に取り組む。一般財団法人斐伊川漁業振興会が取り組む「水辺の教室」開催に協力し、子どもたちに水質保全や生物多样性保全意識の醸成を図る。

1 放流事業

令和5年度 事業計画

3 漁場管理事業

前年同様に令和3年災の河川灾害復旧工事について、建設業者並びに行政機関と連携協力し、早期に河川環境、良好な漁場の復旧に努める。

河川汚濁防止は、事前協議を踏まえながら監視活動や現場踏査により強化に努める。また、一般財団法人斐伊川漁業振興会と連携し河川清掃に協力し環境保全の意識の醸成を図る。



「たたら」を支えた斐伊川
代表理事組合長 山根成二

斐伊川は、実に偉大な川だと思います。



第72回 通常総代会

全提出議案通り可決

令和5年3月12日午前10時より木次町下熊谷交流センターにて開催しました。

総代会の種類	開催日現在の 総代数	出席 総代数	
		本人	書面
通常	94名	24名	60名
			84名

報告事項

- ①増殖及び漁業生産力の発展に関する報告
目標増殖量に基づく増殖事業の他7つの計画目標について、すべての項目が履行されたことを報告。
- ②水産業協同組合法第123条第4項の規定に基づく検査指摘事項及び回答
水産業協同組合法等に定められた決算書類の表示方法等の取扱いの不備について指摘があり、今後は規定に従った取扱いをする回答をした。
- ③一般財団法人斐伊川漁業振興会事業報告及び事業計画予算
本年度、放流事業は昨年より17万円減の873万円、河川清掃の助成は30団体、水辺の教室は18団体、いずれも助成金の上限が25千円で従来通り申請受付順。
- ④その他（主な意見）
 - Q サギ・カワウの駆除について花火や時の伐採等は一時的な効果しかないが根本的な駆除策はないか。
A 他の漁協等の状況を見ても、これはという対策がないのが実態。今後も内水面漁業連合会と意見交換しながら対策を検討する。
 - Q 自主禁漁区の設定後年月が経ちますが、保護した魚種の調査や増殖の成果のある禁漁区の解除等の計画はあるか。
A 今現在検証できていない。今後対応について検討する。



地域に伝わる花田植え行事

招いている。また、ブログを通して奥出雲の四季折々を発信し続けた。生前は閲覧可能であつたこのブログも今は閉鎖され、見ることはかなわなくなつた。

また、成子は多くの執筆活動を開いた。多くは家庭料理であり、その中には「伝えたい味 昔ながらのおかず（母の手料理 昭和のレシピ）」という本がある。何度も食べて飽きない味、母の味これが成子の伝えられたかったことであろう。

奥出雲の四季折々を発信し続けた。生前は閲覧可能であつたこのブログも今は閉鎖され、見ることはかなわなくなつた。

成子は多くの執筆活動を開いた。多くは家庭料理であり、その中には「伝えたい味 昔ながらのおかず（母の手料理 昭和のレシピ）」という本がある。何度も食べて飽きない味、母の味これが成子の伝えられたかったことであろう。

くしくも私は家庭人・成子と遭遇する機会を持った。ある時「河角さん、お宅の車庫を貸してくれない。ケアポートよしだの前だよね?」よく聞いてみるとずっと別居中でありますご主人をこの地に招きたいといふ。 「でも、この年になると同居は嫌なのよ。一味同心塾とお宅くらいの距離が丁度いいのよ。主人も自由人で今更一緒に暮らせないわ!」この奥出雲に暮らす人々にとっては到底理解しえない感覚であったと思う。

「改修費のお金は私が出すわ! 風呂は後ろで入れればいいわ。主人は食事は作れるわ。」

當時、ご主人は横浜であり、成子も車椅子を使い始めしており、入浴にケアポートよしだを多く使っている状況であった。

そこで、食事も二か所で時々同じくする計画であった。この計画がとん挫するのは、成子



田植えの前に



一味同心塾

成子は家庭料理を主体とする料理

だにに対する過度の期待があつた。期待の持ちすぎであり、計画を中止する。

[後述筆記]

十月十八日お亡くなりになりました。中村成子氏のご冥福をお祈り申し上げます。今回の記述に対し、成子氏を一人称表現とさせていただきました。これに伴い、他の有名人の敬称をすべて省かせて頂きました。一部氏のプライバシーに触れる記述を掲載させて頂きました。これは、私と氏の接触が限られている中、出来だけ。眞実に近い氏を表現したかったからです。

これらの勝手な記述に対し、お詫び申しあげますとともに、ご理解いただきますようお願いします。

写真は仁多米のブランド化を中心とした進められていた奥出雲町の担当課長宇田川和義氏（現奥出雲多根の博物館長）が撮影されたもので掲載し上げます。



河角守雄



生前の中村成子

昨年十月十八日一人の老婆が奥出雲の地から旅立つた。この老婆は東京生まれで、決して地縁や姻戚関係があつたわけではなく、ふとした縁で老後を阿井の地で過ごすことになつた。

その老婆の名は中村成子という。彼女は料理研究家でNHKの「今日の料理」や日本テレビの「3分クッキング」で仁多米を取り上げたことが、将来の居住の布石となる。

これらの番組で取り上げたこととが、マスメディアを通じて、後の島田紳助や中田英寿などにも伝播し、西日本における仁多米の地位は東の魚沼産コシヒカリに並び称されるも

成子はこの原点を大事にしたいと思つた。彼女のものとへ多くの意欲ある農家が訪れることがなつたが、一度は辛口の評価を受けていた。私はヤマメを通じた付き合いであり、辛口な評価は受けていなかつた。受けて農家から聞こえてくる印象をまとめてみると成子の一貫性は「地にあつたもの」「旬」と

ではなかつたのではなかろうか。「旬」に対するこだわりは、無農薬に対するこだわりで、仁多米づくりの実践・伝承を毎年行い、「稻のはな」と銘名し支援者に届けている。「地にあつたもの」は長い歴史の

ここで一味同心塾について振り返つてみよう。「一味同心」の「一味」はほかの味を交えない一つの味のことから、平等、同一の意。「同心」は志を同じくするという意から仲間・同志の意。二つを合わせると「同じ心を持つて力を合わせる」となる。

成子は一味同心塾に多くの客人を抱えていた。

成子は一味同心塾に多くの客人を抱えていた。

研究家であり、ヤマメの利用も多くなかつた。私との接觸時間も多い方ではない。しかし、人間中村成子の深層部に触れた数少ない一人だったかもしれません。

女性の社会進出が顕著になつた現代において、熟年離婚も避けて通れない問題であり、先日も島根が生んだ田中美佐子もこの道を選択した。その一方で、東北のホテルでひとつりと事実婚状態の都はるみ。

成子。一方で妻成子として奥出雲を選択した成子。一方で妻成子としての鬪いを抱えていた。

自身もそういう年になつてしまつた。女性の生き方に理解を示しつつも保守的概念から抜けきらない老人である。

成子は一味同心塾に多くの客人を抱えていた。



一味同心塾発として出版された中村の著書

のとなつていく。

この功績に対し、奥出雲町は上阿井の若月家という古民家を準備し、招請へと動くこととなる。

この招請を受けた成子は、この地に居を構え、「ふれあい交流館一味同心塾」と名付け、館長として食の根幹を見直す活動をしながら、奥出雲の日々情報を発信し過ごした。

成子がこの地に居住を決めたのは、自分の眼の前に広がつた美しい里山と棚田。そこには豊かな土壤と水があり、日中の寒暖の差などの最高の条件が揃い、牛の堆肥による土づくり、「はで」による天日干しなどの日本の食の原点を見たからである。

成子はこの原点を大事にしたいと思つた。彼女のものとへ多くの意欲ある農家が訪れることがなつたが、一度は辛口の評価を受けていた。私はヤマメを通じた付き合いであり、辛口な評価は受けていなかつた。受けて農家から聞こえてくる印象をまとめてみると成子の一貫性は

成子はこの原点を大事にしたいと思つた。彼女のものとへ多くの意欲ある農家が訪れることがなつたが、一度は辛口の評価を受けていた。私はヤマメを通じた付き合いであり、辛口な評価は受けていなかつた。受けて農家から聞こえてくる印象をまとめてみると成子の一貫性は

河川のよつに凹凸がある水路を用いた、土砂の流下による藻類剥離についての研究を継続しています。とくに、藻類剥離のスピードのみではなくその物理メカニズムも検討しています。

具体的には、半球状の物体を水路床に接するとして物理的に解釈やすい非平坦河床を模し(図二)、流砂の何%が実際の剥離に寄与しているのかを解明しました。実験で対象としているようなら平坦河床では、実は流砂のほとんどが礫間を通過しており、礫か

また、試しに大津で環境省による「水質汚濁に係る環境基準」(湖沼)と照らし合わせると、全リンの環境基準(0.1 mg/L)を上回る確率は十一%程度、全チツソ(-1 mg/L)については十一%程度でした。十日に一回、環境基準を上回る数値が検出されている計算になります。より正確には、道湖への他の流入河川の影響も考慮べきですが、最大流入河川は斐伊川でしょう。

藻類剥離と土砂還元

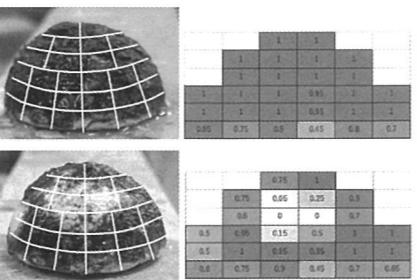


図2: 藻類が付着した球状粗度の土砂流下実験開始前(左上)と実験後の写真(左下)。図の右列は実験前(右上)と後(右下)における剥離率の算定値である。数値が0に近いほど、よく剥離したことを意味する。

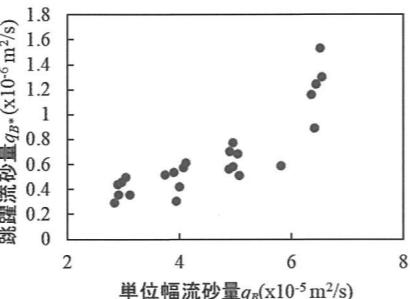


図3: 水路単位幅についての幅流砂量と跳躍流砂量の関係式。縦軸と横軸の大きさの差異に注目していただきたい。

異動のご挨拶

かねてより斐伊川での調査研究を進めて参りました吉岡秀和および橋口亞由未が、二〇二三年四月一日からそれぞれ新しい大学に所属することになりました。両名とも引き続き、斐伊川も対象としながら、環境と人間、生物資源が持続的に共生していくために、様々な情報から知識を創出することで漁協を含めた社会に向けて成果還元していく研究を進めて参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

これまで八年半、様々な分野の研究者を巻き込みながら斐伊川での研究を進めて参りました。現在では全員の所属が異なりますが、引き続き「斐伊川のアユや環境」の学際的研究を進めて参ります。

学際的研究による斐伊川のアユや環境の「知」の蓄積

北陸先端科学技術大学院大学 吉岡秀和

島根大学 吉岡有美

岡山大学 吉岡由佳

京都大学 吉橋田智

同志社大学

岩手大学

東京工業大学

男彦遼

元邦

村上部

辻濱友

今回は、二〇二二年春時点の最新研究成果をご報告いたします。

アユの成長

組合員の皆様のご尽力により、斐伊川や漁協養殖水槽のアユ体重データを蓄積し続けています。図1は、二〇二〇年、二〇二一年、二〇二二年のアユ体重データを示しています。アユ体重データは質的にこれまでの年と同様の傾向にあり、体重という観点からは斐伊川のアユは安定していると考えられます。二〇二二年のアユは二〇二〇年と二〇二一年のアユの中間程度であって、二〇二二年が最も個体差は安定していると考えられます。二〇二二年のアユは二〇二〇年と二〇二一年のアユの中間程度であって、二〇二二年が最も個体差は安定しているとを考えられます。二〇二二年のアユは二〇二〇年と二〇二一年のアユの中間程度であって、二〇二二年が最も個体差は

これまで八年半、様々な分野の研究者を巻き込みながら斐伊川での研究を進めて参りました。現在では全員の所属が異なりますが、引き続き「斐伊川のアユや環境」の学際的研究を進めて参ります。

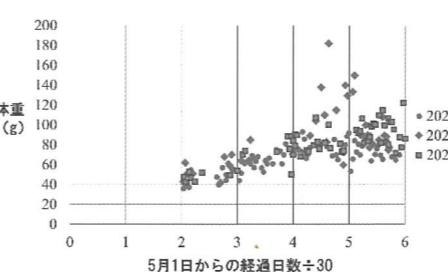


図1: 2020年、2021年、2022年における斐伊川のアユ体重データ

が小さい、という量的な解析結果が出ています。

また、他河川のアユ遡上データを分析し、斐伊川のアユについて間接的にも理解を進めようと試みています。例えば、愛知県を流れている矢作(やはぎ)川の明治頭首工では毎年、日ごとのアユ遡上数が報告されています(山本ら・明治用水頭首工におけるアユの遡上データ(二〇一〇～二〇二〇年))。

矢作川研究26、13-18)。興味深いことに、矢作川での遡上量は年ごとに約四十五万匹から約千万匹と二十二倍以上異なる等、遡上量の予測は現時点でも極めて難しいと示唆されます。上述の体重データを鑑みると、ある意味で遡上量は不安定である一方で成長は安定している、という仮説が立ちます。

さらに、今年は四月二十一日に三刀屋川の天神頭首工で河川が真っ黒になるほどの大規模なアユ遡上が確認された一方、その数日後には遡上が全然見られない日があったと伺っています。このように、アユ遡上は年ごと、そして日々のランダムネスが極めて大きい生物現象と捉えられます。現在、この考え方に基づく「アユ遡上理

論」の構築を進めています。双方の分析を進めています。これまでの解析で、水質項目ごとに異なる時間変化をすることが見えました。例えば水質汚濁度、化学的酸素要求量(COD)など、多項目にわたる長期・短期データ(二〇一〇～二〇二〇年)を鑑みると、ある意味で遡上量は不安定である一方で成長は安定している、という仮説が立ちます。

さらに、今年は四月二十一日に三刀屋川の天神頭首工で河川が真っ黒になるほどの大規模なアユ遡上がりが確認された一方、その後には遡上がりが全然見られない日があったと伺っています。このように、アユ遡上は年ごと、そして日々のランダムネスが極めて大きい生物現象と捉えられます。現在、この考え方に基づく「アユ遡上理論」の構築を進めています。双方の分析を進めています。これまでの解析で、水質項目ごとに異なる時間変化をすることが見えました。例えば水質汚濁度、化学的酸素要求量(COD)など、多項目にわたる長期・短期データ(二〇一〇～二〇二〇年)を鑑みると、ある意味で遡上量は不安定である一方で成長は安定している、という仮説が立ちます。

河川水質

前号の瀬音では斐伊川の流況についてお話ししましたが、今回は水質に焦点を当てます。二〇二二年二月、武田育郎教授(島根大学)の御厚意で、最近約三十年間という長期間における木次と大津での毎週採水による水質データを頂きました。現在、河川水質の指標となる全リンや全チツ素、溶存酸素濃度、化学的酸素要求量(COD)など、多項目にわたる長期・短期データ(二〇一〇～二〇二〇年)を鑑みると、ある意味で遡上量は不安定である一方で成長は安定している、という仮説が立ちます。

さらに、今年は四月二十一日に三刀屋川の天神頭首工で河川が真っ黒になるほどの大規模なアユ遡上がりが確認された一方、その後には遡上がりが全然見られない日があったと伺っています。このように、アユ遡上は年ごと、そして日々のランダムネスが極めて大きい生物現象と捉えられます。現在、この考え方に基づく「アユ遡上理論」の構築を進めています。双方の分析を進めています。これまでの解析で、水質項目ごとに異なる時間変化をすることが見えました。例えば水質汚濁度、化学的酸素要求量(COD)など、多項目にわたる長期・短期データ(二〇一〇～二〇二〇年)を鑑みると、ある意味で遡上量は不安定である一方で成長は安定している、という仮説が立ちます。

おわりに

皆様のお力添えのおかげで斐伊川のアユや環境について格段に理解が進みました。しかし日々、研究に関する新しい疑問や課題が生じ続けています。斐伊川を取り巻く情勢はまさに有為転変であることが、様々なデータから見て取れます。今後も、人間社会が大きく変化する環境と持続的に共存するための研究を継続いたします。

謝 辞
本研究は、文部科学省科研費(22K14441, 22H02456)、住友財団環境研究助成(203160)、ヤンマー資源循環支援機構助成事業(KI0212021)の援助を受けました。

斐伊川漁業協同組合

禁漁区

- 仁多郡奥出雲町三沢中国電力KK設置三沢堰堤上流180m、下流180m全漁法禁止
- 仁多郡奥出雲町横木川県営三成発電所堰堤上流200m全漁法禁止
- 雲南市木次町平田中国電力平田堰堤上流100m、下流100m全漁法禁止
- 雲南市木次町西日登大島地内用水堰堤上流90m、下流50m全漁法禁止
- 雲南市木次町里万地内小原床止堰堤上流100m、下流200m全漁法禁止
- 但し4月1日より7月31日まで

自主禁漁区

- 仁多郡奥出雲町川内板根ダムを含む上流全漁法禁止
- 仁多郡奥出雲町八川小八川出雲草坂橋より上流全漁法禁止
- 仁多郡奥出雲町三成大橋の舌ヶ谷区域制限釣禁止
- 仁多郡奥出雲町三成大橋より翌年5月31日まで
- 仁多郡奥出雲町上阿井内合(奥内合)より上流全漁法禁止
- 仁多郡奥出雲町河内中国電力KK北原発電所阿井調整池堰堤より200m全漁法禁止
- 禁止区域より上流八原橋(1号橋まで)のみ認める常高寺前より上流八原橋(1号橋まで)あゆ漁に限り網は認める
- 雲南市木次町西日登引野堰堤舟道及び豊口半径5m全漁法禁止
- 雲南市大東町久野桃源郷上長谷川上流首工より上流全漁法禁止
- 雲南市木次町木次久野川木次橋から上流500m(小学校裏)全漁法禁止
- 雲南市木次町里方地内斐伊川(里原大橋より上流300mまでの区間、あゆ漁の全漁法禁止)但し10月1日より10月31日まで
- 雲南市木次町里方地内斐伊川(小原床止堰堤上流100m、下流300mあゆ漁のみ全漁法禁止)
- 但し10月1日より10月31日まで
- 雲南市加茂町赤川中の大橋(柏町裏)上流50m、下流50m全漁法禁止
- 雲南市三刀屋町三刀屋三刀屋川天神首工より坂山橋上流50m網・釣禁止
- 雲南市吉田町芦谷深野川清水橋より上流35m全漁法禁止
- 雲南市吉田町芦谷深野川清水橋より上流全漁法禁止

うなぎ資源の保護のため11月1日より翌年3月31日まで採捕禁止にご協力下さい。

あゆ釣りスポット

- 三成 … 斐伊川(佐々木橋上流)
- 温泉 … 斐伊川(猿渡橋上流)
- 日登 … 斐伊川(大島・吉井)
- 三刀屋 … 三刀屋川(成木)
- 三刀屋 … 三刀屋川(渓谷)
- 三刀屋 … 三刀屋川(三刀屋全周)
- 掛合 … 三刀屋川(松尾橋上流)
- 掛合 … 三刀屋川(掛合中学裏)

渓流釣りスポット

- 竹崎 … 斐伊川上流
- 八川 … 下横田川、室原川
- 馬木 … 大馬木川、小馬木川
- 上阿井 … 阿井川上流、内谷川
- 掛合 … 三刀屋川、八重山川
- 吉田 … 民谷川、吉田川上流

楽しい釣りはルール・マナーを守って安全に!
工事・木の伐採作業中の立ち入り、
無断で山菜採り、私有地への駐車等はご遠慮下さい!

編
集
後
記

本号の発行にあたって、ご多用の中ご寄稿や資料等のご提供をいただきました方々に厚くお礼申しあげます。コロナ感染症が第五類になつたことで、四年ぶりにゴルフ大会、投網大会が開催できます。来年の本紙には、

大会の様子を掲載できることをうれしく思います。

令和五年七月

委員長
委員
委員会
編集委員会和泉
高野
尚美
耕治
福田
真樹

諸事情を御賢察の上、改定させていただきまして、理解をいたさります。
よろしくお願いします。



販売期間	価 格 (税込)	組合員価格 (税込)
~ 6/25	170円	170円
6/26 ~ 7/ 5	190円	190円
7/ 6 ~ 7/15	210円	210円
7/16 ~	230円	

土日・平日に関わらず相談に応じさせていただきますが、あゆの取り上げの都合上、お早めのご注文をお願いします。

令和5年一般遊漁券取扱所

	住 所	取 扱 所	連絡先
仁多郡	奥出雲町竹崎 1843-2	ヴィラ船通山斐乃上荘	0854-52-0234
	奥出雲町三成 558-6	奥出雲サイクリングターミナル	0854-54-2100
	奥出雲町三井野原 2500-294	道の駅奥出雲おろちループ	0854-52-3111
	奥出雲町上阿井 1639	渡部商店	0854-56-0052
	奥出雲町亀嵩 288-1	横路孝政	080-3870-3742
雲南省	木次町平田 70	龜山幹生	0854-48-0001
	木次町平田 806-5	橋本商店	0854-48-0008
	木次町新市 87	フライフィッシングM	090-1681-8074
	大東町大東 2402-1	ECO・カーステーションK	0854-43-6773
	三刀屋町三刀屋 376-6	松尾理容店	0854-45-3179
出雲市	掛合町掛合 2223-2	願永信夫	0854-62-0455
	吉田町深野 339-8	ヤマサキショップすまいる店	0854-75-0666
	吉田町民谷 456	民谷交流センター	0854-74-0530
	出雲市渡橋町 1033-1	ポイント出雲店	0853-23-9481
	出雲市渡橋町 1085-1	かめや釣具出雲店	0853-20-1191
松江市	出雲市西平田町 108-2	小村漁具店	0853-62-2214
	松江市学園南 2-1-8	かめや釣具松江店	0852-24-1191
	松江市学園南 2-1-3	天狗堂	0852-23-0775
	松江市北田町 215	山陰釣具センター	0852-26-2623
	松江市東朝日町 73-5	ポイント松江店	0852-60-1161
広島県	松江市浜乃木 6-33-36	Fisherman's Shop RUSH	0852-61-8518
	庄原市新庄町 368-1	フィッシングショップぬまた	0824-72-1767
	福山市山北 343-1	ツリグヤ瀬戸店	084-999-0482
	三次市南畠敷町 65-1	かめや釣具三次店	0824-65-1091
	オンライン販売	つりチケ	https://www.tsuritickets.com

遊漁券は漁協事務所か上記取扱所で購入し、よく目につくところに提示してください。なお、監視員が遊漁券を現場で発行する場合は500円増しとなります。

監視員が遊漁券の提示等を求めることがありましたら、指示に従ってください。

組合員募集

各支部独自の活動の他に本部では投網大会・水辺の交流事業など様々な活動をしています。

また、年券購入者であれば、准組合員として加入することも可能です。

出資金 10,000円
(入会時のみ)
年会費 6,000円

※10月末日までの加入申込で令和6年から組合員となります。

<http://www.hiikawafish.jp>
斐伊川漁協 検索

斐伊川漁協からのお知らせ 電子遊漁券に対応しました!

*この河川で釣りをするには遊漁券が必要です。遊漁券収入は、釣り場環境を守る活動に使われています。

便利な釣果・釣場・周辺情報も



つりチケなら、いつでもどこからでも遊漁券が買える!



スマホ・PCから簡単購入

QRコード読み取り もしくは
つりチケ で検索してアクセス
公式サイト: <https://www.tsuritickets.com/>

写真で見る地域活動



鍋山支部 水辺の教室 4/28



阿井幼稚園 プール開き 6/30



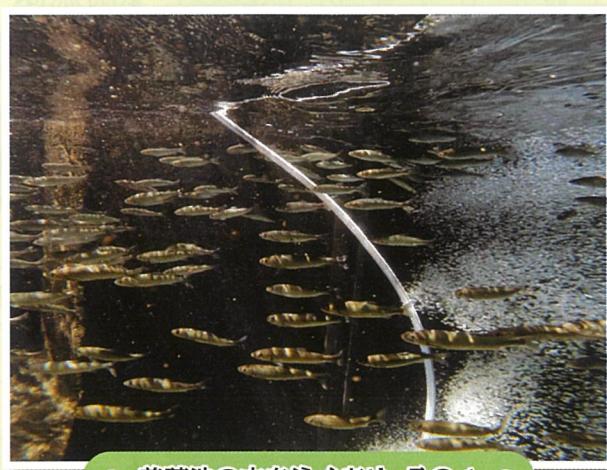
ヤマメ放流各支部積替え 6/23



河川清掃作業 北大西赤川を守る会 6/11



養殖池の中を泳ぐあゆ その2



養殖池の中を泳ぐあゆ その1